



緑の地球をまもるために

(公財)緑の地球防衛基金 第9回 研究・活動報告会

テーマ: 森林資源を守る

主催 公益財団法人 緑の地球防衛基金
後援 株式会社 セディナ
地球にやさしいカード

日時 平成27年11月7日(土) 14:00~17:00

場所 馬事畜産会館2階会議室

(東京メトロ東西線・日比谷線「茅場町駅」1番出口より徒歩5分、
JR京葉線・東京メトロ日比谷線「八丁堀駅」B4又はA4出口より徒歩5分)

第一部 基調講演

○森林資源に関するU字仮説：社会経済発展と森林資源

東京大学教授 大学院農学生命科学研究科森林科学専攻林政学研究室

永田 信

森林資源は、社会経済が発展する以前、豊かにあったと考えられるが、経済の発展に伴い段々と減少する。しかしやがて、森林の重要性に気付き、森林資源は増大に転ずることになる。従って森林資源を縦軸に、時間を横軸に取るなら、U字を描くことになる(U字型仮説)。

第二部 活動報告

○アマゾン・シングー川上流域における野生生物(蜂)保全事業

NPO法人 熱帯森林保護団体代表

南 研子

養蜂事業を通し、野生蜂の繁殖を助けることにより、貴重な植物群が残っている受粉地域の拡大が望め結果、熱帯林の活性化と再生に役立つ。同時に蜂蜜採取は現地住民であるインディオの人々の経済的自立支援も期待できる。

○植林・環境教育による住民意識の変化—流域全体の環境保全活動から—

NPO法人 イカオ・アコ理事長

日本福祉大学教授

後藤 順久

流域全体で取り組んでいる植林事業を中心とした環境保全活動が、住民にもたらした環境意識の変化を計測するため、実態調査を行った。海岸部・山間部の生活圏を超えた環境交流活動は生命地域の理解に効果が高い。その理解が強まることで、よりローカルな環境問題について関心を持つようになった。

お申込みは氏名・住所・電話番号・FAX番号・Eメールアドレス、参加希望人数を明記の上、(公財)緑の地球防衛基金報告会係：電話(03-3297-5505)、FAX(03-3297-5507)・Email(defense@green.email.ne.jp)、住所(104-0033東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館203)へ、締切りは11月5日。入場無料。先着100名

